第6回 学習活動の基礎知識(2)

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/
- ゼミに関係する書籍などの情報もあります。

前回の宿題

- 学習支援センターの方からの宿題「新聞の記事を要約してまとめる」
- 今日が提出期限なので、まだ提出できていない場合は、できるだけ早く学習支援センターへ提出すること

資料や情報の収集への取り組み方

- 1. テーマに関する全般的な知識や動向を調べる
- 2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
- 3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
- 4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

調べ出した資料や情報は、メモしたり、コピーまたは印刷して、記録として残して整理しましょう。

- 文献などの資料:コピーをしたり、「文献メモ」を作成しておく
- ネット上の情報:印刷したり、ブラウザの「お気に入り」に追加しておく

資料の種類

- 参考図書(レファレンス・ブック): 学問全般について知りたい場合に役立つ
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
- •新聞:比較的新鮮な情報を入手できるが、情報が断片的な場合がある
 - ○一般紙(全国紙:毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙:神戸新聞など)
 - スポーツ紙・レジャー紙(日刊スポーツ、サンケイスポーツなど)、専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
- ●図書/単行本:特定分野の知識が体系的にまとまっているが、できあがるのに時間がかかる
 - ○文庫本、新書、専門書など
 - 一次資料(オリジナルの資料)と二次資料(一次資料に基づく資料;年鑑、索引、蔵書目録も含む)
- 雑誌、逐次刊行物(定期刊行物):特定分野の現状や新しい話題について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - ○一般雑誌(月刊誌、週刊誌など)
 - 学術雑誌(学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
- インターネット上の情報:情報の量は多いが、書き換えや削除されることがあるので、再検証しにくい
 - マスコミのサイト(新聞やテレビなど報道機関)
 - ○行政(政府や自治体)、企業・各種団体のサイト
 - フリーの百科事典(Wikipediaなど)、まとめサイト、個人のサイト(日記、プログなど)

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法(NDC: Nippon Decimal Classification)
 - ○資料の背に張られたシールに書かれている番号
 - 資料のテーマ(主題、分野)ごとに分かれている (例)芸術 スポーツ、体育 球技: 「783」

インターネットで資料を探す

大学図書館のサイトから利用できるものもありますから、チェックしておきましょう。なお、有料サービスのため同時アクセス数が制限されれているものもあります。

実際にいくつかのサービスにアクセスしてみましょう。

- 1. 全国のOPAC(蔵書カタログ)の検索
 - ○大学のOPAC(兵庫大学: http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/)
 - Webcat plus (国立情報学研究所: http://webcatplus.nii.ac.jp/)
 - NDL-OPAC (国立国会図書館: http://opac.ndl.go.jp/)
 - ○カーリル(日本最大の図書館検索サイト: http://calil.jp/)
- 2. 書店や古書店のデータベース
 - Books.or.jp(日本出版協会:http://www.books.or.jp/)
- 3. 雑誌記事検索
 - NDL-OPACの雑誌記事検索(国立国会図書館: http://opac.ndl.go.jp/)
 - ジャパンナレッジ・プラス (ネットアドバンス: http://www.jkn21.com/top/corpdisplay)
- 4. 文献の題目・著者・本文などで検索
 - CiNii 論文情報ナビゲータ(国立情報学研究所: http://ci.nii.ac.jp/ja)
 - Google Scholar (Google: http://scholar.google.co.jp/)
- 5. 電子ジャーナル
 - J-STAGE(科学技術振興機構: http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja)
 - ∘ ScienceDirect (エルゼビア: http://www.sciencedirect.com/)
 - 医中誌Web(医学中央雑誌刊行会: http://login.jamas.or.jp/)
- 6. 白書、統計資料など
 - ○情報通信白書(総務省: http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/)
 - ○統計調査結果(e-Gov 電子政府の総合窓口: http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html)

資料を探すときに一番手っ取り早いのは「知っている人に聞くこと」ですが、自分でできることも多く あります。自力で資料や情報を探すときに、心がけることや、工夫するとよいことを考えてみましょ う。

資料としての情報の鮮度・信頼性

- 鮮 度:インターネット>新聞>学術雑誌>図書>参考図書
 - ○インターネットは情報をすぐに公開することができる
- 信頼性:インターネット < 新聞 < 学術雑誌 < 図書 参考図書
 - ○できあがるまでに多くの人や専門家によるチェックがあるほど、信頼性が高い

参考文献

- ◆ 学習技術研究会編著「知へのステップ第3版」、〈ろしお出版(2011.04)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).